



# 武庫の宝

令和8年 1月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては良い年をお迎えになられたことと思います。本年もどうかよろしくお願ひいたします。

毎年、新年を迎えた3学期の始業式には「竹のフシ」「節目を大切にしたいね」という話をすることにしています。子どもたちの前に立って話をさせてもらえる限られた機会に少しでも言葉が染みる、心を揺さぶるものになりたいと常に心がけています。二学期の終業式では児童玄関前に飾られた門松に**気づき**、そのお話をしました。竹の切り口が笑顔に見えることから縁起がいいと言うのを調べてみて初めて知りました。新たな**価値**を感じました。



何かに**気づき**、そこに**価値**を感じ、伝える。また、調べてみる。そこでは新たな問いが生まれる。こうして「感じて動く」大切さを子どもたちに伝えたい、そんな思いで繰り返し繰り返し語っているキーワードが「**価値発見**」です。



正月明け早々から業者の方が来校され、なかなか取り掛かることができなかつたグラウンドや中庭の樹木の伐採が行われました。グラウンドにはパッカー車や高所作業車が入って作業をするほどの大規模なものです。その様子を見て、児童クラブの子どもたちが言葉にしてくれるのです。「**価値発見**」を。また仕事始めの5日の朝、地域の方から正門横の花壇がお正月仕様に飾られていることをお知らせいただきました。実は1年を通じて心がほっこりする花壇の世話をさせていただいている地域の方がいらっしゃるのです。その**価値**を感じ、伝えてくださる方がいる…。本当に素敵な幸せの循環ですよ。

2025年度も残すところあと三か月。子どもたちが登校する日数は5年生が50日、他の学年はちょうど49日、もう50日ないのです。子どもたちそれぞれが一日一日を大切に、思いを馳せ、**価値**を感じ、充実した日々を送れるよう、ご支援ご協力をお願いいたします。